

ふるさと花園を愛し
夢とこころざしを持ち
まごころと思いやり
のある花中生



真摯に学ぶ生徒
心を磨く生徒
体を鍛える生徒

2020. 5. 12.

制作者

萩原大典

夢を持ち未来へ羽ばたく 3年生

5月11日提出分の数学課題をチェックしました。提出状況は、下の表のとおりです。

	A		B○		B		C		無	
	文字の式	資料の活用	文字の式	資料の活用	文字の式	資料の活用	文字の式	資料の活用	文字の式	資料の活用
全体	93	87	1	3	4	4	1	3	9	11
男子	39	35	1	3	1	2	1	1	8	9
女子	54	52	0	0	3	2	0	2	1	2

(この3か月で大きく進路が変わるという人が増えたことでしょうか。女子は良い方に。男子は・・・)

A評価が「文字の式」は全体の86%、「資料の活用」は全体の81%でした。前回のA評価以上の割合が62%でした。それに比べると、かなり数字が上がりました。ここに来て、さすがに危機感が増しているというか、入試に対する現実味が増してきたというかは分かりません。ただ、5月に入ってから地域によっては学校が再開しているところがあります。また、12日には「学校9月再開は難しい」との報道が出ました。最悪、6月から再開したとしたら2月までの8か月ですべてを修了しなければなりません。最悪を想定して最善を尽くす。これは、危機管理における鉄則です。そう考えると、今回の数学における提出物提出率はまずまずと言えるでしょう。

ここで毎度の話になりますが、一番右の欄は無、すなわち提出物が出されていないことを意味します。評価のしようが無いということです。これも毎度の話になりますが、学校再開後は時間がいくらあっても足りません。1日24時間を増やすわけにはいきません。私が何を言いたいのかわかりますか？再開後の授業の内容について来られますか？授業のペースについて来られますか？



ここで、面白いイラストを見つけました。受験、入試と言われてストレスがたまったら、イライラが止まらないというものです。しかし、言わせてもらえば「受験、入試と言われて」ストレスを感じる資格があるのは、それだけ受験、入試に気持ちと時間をかけている人だけだと考えます。そうでない人は、ただ不安が積もってのストレス、イライラだと考えます。あるプロ野球選手が「自分は今スランプだ」と口にしたら「お前がスランプという言葉に口にするのは10年早い。それだけ練習をしているのか」と先輩から言われたという話があります。プロでさえそうなのですから。



次の内容は、3年数学第4章「関数 $y = ax^2$ 」の内容です。教科書でいうとP103です。さらに、そこから「ひろがる数学」の変化の割合の計算P236まで発展しています。進路の目標を明確にして取り組んでいることが伝わってきます。

$y = ax^2$ p から q まで増加するときの変化の割合

$$a(p+q)$$

$$\begin{array}{l} x \text{ の増加量 } q-p \\ y \text{ の増加量 } aq^2 - ap^2 \end{array}$$

$$\frac{x}{y} \left| \begin{array}{cc} p & q \\ ap^2 & aq^2 \end{array} \right.$$

$$\frac{aq^2 - ap^2}{q-p} = \frac{a(q^2 - p^2)}{q-p} = \frac{a(q-p)(q+p)}{q-p}$$

約分がいてなるので、 $a(q+p) = a(p+q)$ になる

また、この生徒は5月5日から使い始めたノート（30枚）を5月9日に終了させています。5日間で60ページですよ！ 自分もこれほど短期間でこれだけの量、内容に取り組めたことはないかもしれません。教科のバランスも、申し分ありません。これくらいやっていたら「ああ疲れた！！」と言っても誰も、何も言いません。いえいえ。言えませんよね。

参考までに。この生徒は、2年生の時に販売した「入試対策問題集」を有効活用しています。せっかくある程度の価格のものを購入したのだから、大切に保管しておくのではなく、手垢がつくくらい使った方がいいのではないのでしょうか。